

校長室の窓

平成28年7月4日
第7号

為すことで学ぶ・為すことを学ぶ

～ 正則小の体験活動 ～

7月になりました。入学してから3か月。進級してから3か月。正則の子はその学年の顔になってきました。

教室での顔、運動場での顔、登下校中の顔…。それぞれ、その学年なりに今すべきことがわかり、一生懸命がんばってやり遂げるという経験を積み重ね、「正則の〇年生の顔」に成長できたのだと思います。

勉強も遊びもそれを助けたが、各学年で取り組むいろいろな体験活動も、成長を促す大きな力となっています。これまで



町たんけんレッツゴー！

このブログが
ホーム
ページが
10,000
カウントを
超えました

このブログが開かれてから、3年8か月、とうとう10000カウントを超えました。「ホームページ楽しみにしています。」という、保護者のみなさんや正則の子どもたちの応援に支えられて、これからも、正則の「今」をお届けします。ご意見ご感想をよろしくお願い致します。

遠足や社会見学、修学旅行、野外教室、農業体験、福祉実践教室など、ほとんど毎週のように、体験活動が計画されています。

あるときは国語の授業中に朗読発表会として、あるときはプール掃除の奉仕活動として、また、あるときは泡でアルファベットを書く外国語活動として、体を動かすことで大切なことを学んできました。それは、しっかり聞くことであったり、藻やごみの落とし方であったり、アルファベットの書き順であったりしますが、何よりも、仲間とともにがんばるという強い気持ちであると思います。

「為すことによって学ぶ」とはデューイという人の言葉です。経験から学ぶことを大切にして、正則小ではいろいろな活動を計画しています。そのために入念な打ち合わせをして、健康や安全への配慮を行い、どうすれば正則の子の力を引き出すことができるか、

そして、真剣な顔、輝くような笑顔を見ることが出来るか、先生方は知恵をしぼっています。

夏休みには、運動会と学習発表会の計画が待っています。

